

ステージ(ST)			ST0 (平時)		ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)					
リードタイム			日常	-72h~ -48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~					
警戒レベル					警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当		警戒レベル4相当	警戒レベル5相当						
立ち上げ/移行トリガー					台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表			破堤による氾濫発生						
安威川(千歳橋)水位							水防団待機水位	氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達						
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目														
100 トリガー 情報提供	110 気象台	111 台風情報		1. 台風進路予報(5日予報)の発表 ※以降、6時間毎に発表	2. 台風説明会開催の準備	3. 台風説明会の開催	4. 台風進路予報(24時間予報)発表 ※以降、3時間毎に発表										
		112 気象情報	1. 早期注意情報(警報級の可能性)の発表 ※随時発表	2. 大阪府気象情報の発表 ※以降随時発表 気象台からのコメントの発表 ※以降随時発表			3. 強風注意報の発表	4. 大雨・洪水注意報の発表	5. 大雨(浸水害・土砂災害)・洪水・暴風警報の発表	6. 氾濫注意情報の発表(大阪府と共同発表)	7. 氾濫警戒情報の発表(大阪府と共同発表)	8. 氾濫危険情報の発表(大阪府と共同発表)	9. 氾濫発生情報の発表(大阪府と共同発表) 10. 大雨(土砂災害・浸水害)特別警報の発表				
		113 防災対応の支援					1. J E T T (気象庁防災対応支援チーム) 派遣(大阪府)		1. J E T T (気象庁防災対応支援チーム) 派遣(大阪府)	2. 氾濫注意情報発表の準備(大阪府との協議)	3. 氾濫警戒情報発表の準備(大阪府との協議)	4. 氾濫危険情報発表の準備(大阪府との協議)	5. ホットライン対応				
	120 大阪府水防本部	121 河川水位								1. 氾濫注意情報発表の準備(気象台との協議)	2. 氾濫注意情報の発表(気象台と共同発表)	3. 氾濫警戒情報発表の準備(気象台との協議)	4. 氾濫警戒情報の発表(気象台と共同発表)	5. 氾濫危険情報発表の準備(気象台との協議)	6. 氾濫危険情報の発表(気象台と共同発表)	7. 氾濫発生情報発表の準備(気象台との協議)	8. 氾濫発生情報の発表(気象台と共同発表)
		122 水防活動の支援	1. 防災啓発の実施 2. 水害対応の準備	3. 関係機関への連絡体制の確認		※台風説明会へ出席 4. 水防体制の確認 5. 水位・雨量等の監視 6. 台風情報の周知		7. 水防体制の確立	8. 水防体制の拡大	9. 洪水対策施設操作の指示(水門・排水機場)					10. 被災箇所の緊急措置 11. TEC-FORCE支援調整		
130 大阪府災害対策本部	131 防災対応の支援	1. 防災啓発の実施	2. 防災・危機管理指令部会議 3. 関係機関へ台風関係情報発信 4. 府民に対する注意喚起(おおさか防災ネット・ツイッター)	5. 関係機関へ台風関係情報発信 6. 市町村、防災機関、ライフラインの対応状況の確認	7. 台風説明会の開催周知・出席 8. 災害警戒本部会議 9. 知事メッセージの発信	10. 市町村、防災機関、ライフラインの対応状況の確認 11. 関係機関へ台風関係情報発信 12. 災害警戒本部会議 13. 災害モード宣言の発信 14. 災害対策本部設置	15. 災害モード宣言の周知	16. リエゾン派遣受入れ要請(関係機関) 17. リエゾン派遣準備(市町村)	18. 移動基地局の準備	19. 被害情報の収集開始	20. 災害救助法適用に向けた準備	21. 被害状況の把握 22. 防災関係機関への応援要請					

ステージ(ST)			ST0 (平時)		ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)		
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~	
警戒レベル					警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当			警戒レベル4相当	警戒レベル5相当		
立ち上げ/移行トリガー					台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生		
安威川(千歳橋)水位							水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達		
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目											
200 流域市	210 吹田市	211 防災体制の構築				1.体制の検討 2.防災対策会議の開催 3.警戒体制の決定 4.職員参集体制の決定	5.災害警戒本部の設置(自主避難所開設の場合)		6.災害警戒本部、災害対策本部の設置					
		212 情報収集・共有				1.気象情報確認 2.システムなどの活用による情報収集 3.洪水ハザードマップの確認 4.情報収集担当者の確認(選任)	5.気象情報確認	5.気象情報確認 6.河川水位の監視	5.気象情報確認 7.河川情報確認	5.気象情報確認 7.河川情報確認	5.気象情報確認 7.河川情報確認 8.ホットライン受信	5.気象情報確認 7.河川情報確認 8.ホットライン受信	5.気象情報確認 7.河川情報確認 8.ホットライン受信 9.被害状況報道発表に向けての情報収集	
		213 判断・意思決定										1.避難準備・高齢者等避難開始発令の判断	2.避難指示(緊急)の発令の判断	
		214 避難情報の提供				1.伝達先の整理	2.情報伝達方法の検討 3.情報伝達方法の選択 4.伝達内容の整理 5.各避難所情報発令時期の決定	6.情報伝達 7.広報車、防災行政無線の準備	6.情報伝達 8.他市との連携(緊急速報メールの発信)	9.自主防災組織へ伝達	10.避難準備・高齢者等避難開始の発令 11.広報車による避難情報の広報 12.防災行政無線、緊急速報メール等による情報伝達 13.避難指示(緊急)の発令	11.広報車による避難情報の広報 12.防災行政無線、緊急速報メール等による情報伝達	11.広報車による避難情報の広報 12.防災行政無線、緊急速報メール等による情報伝達	
		215 避難所の運営				1.避難場所の検討	2.自主防災組織へ連絡 3.避難所管理者等へ連絡 4.避難所開設に対する職員の準備 5.開設避難所の決定 6.避難所開設準備(職員配置)	7.自主避難者の受入れ	7.自主避難者受入れ 8.避難所周辺自主防災組織などへの連絡	9.避難所開設				
		216 現場対応		1.通常通りの業務をこなす			2.市民からの土のうの要請⇒包括委託業者へ連絡	2.市民からの土のうの要請⇒包括委託業者へ連絡	2.市民からの土のうの要請⇒包括委託業者へ連絡	2.市民からの土のうの要請⇒包括委託業者へ連絡 5.2班体制をとっており、担当班が現場へ直行し対応する 6.重機が必要となる場合もあるので、緊急業者を待機させる	2.市民からの土のうの要請⇒包括委託業者へ連絡 5.2班体制をとっており、担当班が現場へ直行し対応する 6.重機が必要となる場合もあるので、緊急業者を待機させる	2.市民からの土のうの要請⇒包括委託業者へ連絡 5.2班体制をとっており、担当班が現場へ直行し対応する 6.重機が必要となる場合もあるので、緊急業者を待機させる	2.市民からの土のうの要請⇒包括委託業者へ連絡 5.2班体制をとっており、担当班が現場へ直行し対応する 6.重機が必要となる場合もあるので、緊急業者を待機させる	2.市民からの土のうの要請⇒包括委託業者へ連絡 6.重機が必要となる場合もあるので、緊急業者を待機させる 7.1班で対応できない場合もあるので、2班(全員)体制となる
		217 洪水対策施設操作		1.大雨が予想される場合は、用水に支障がない範囲で、水路内の水位を下げるよう土地改良区に依頼	2.水路内の水位を下げるため、土地改良区に樋門の開閉操作を依頼	2.水路内の水位を下げるため、土地改良区に樋門の開閉操作を依頼	2.水路内の水位を下げるため、土地改良区に樋門の開閉操作を依頼	2.水路内の水位を下げるため、土地改良区に樋門の開閉操作を依頼	2.水路内の水位を下げるため、土地改良区に樋門の開閉操作を依頼	3.大阪府HPで安威川の水位を確認し、必要があれば開閉操作を行う	3.大阪府HPで安威川の水位を確認し、必要があれば開閉操作を行う	3.大阪府HPで安威川の水位を確認し、必要があれば開閉操作を行う	3.大阪府HPで安威川の水位を確認し、必要があれば開閉操作を行う	3.大阪府HPで安威川の水位を確認し、必要があれば開閉操作を行う

ステージ(ST)			ST0 (平時)			ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)	
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~	
警戒レベル						警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当			警戒レベル4相当	警戒レベル5相当	
立ち上げ/移行トリガー						台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生	
安威川(千歳橋)水位								水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達	
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目											
200 流域市	220 高槻市	221 防災体制の構築	1. 防災体制の整備				2. 警戒体制・関連部長会議の開催	3. 災害対策本部・第一次防災体制の設置						
		222 情報収集・共有	1. 台風情報や雨量等の気象情報の取得及び庁内で情報共有				2. 台風情報や雨量等の気象情報の取得及び庁内で情報共有	3. 台風情報や雨量等の気象情報の取得及び庁内で情報共有 4. 市民への台風接近・情報提供	5. 台風情報や雨量等の気象情報の取得及び庁内で情報共有 6. 安威川河川水位情報の確認 7. 河川管理者に助言の確認	5. 台風情報や雨量等の気象情報の取得及び庁内で情報共有 6. 安威川河川水位情報の確認 7. 河川管理者に助言の確認	5. 台風情報や雨量等の気象情報の取得及び庁内で情報共有 6. 安威川河川水位情報の確認 8. 河川管理者に助言の確認・ホットライン	5. 台風情報や雨量等の気象情報の取得及び庁内で情報共有 6. 安威川河川水位情報の確認 8. 河川管理者に助言の確認・ホットライン	5. 台風情報や雨量等の気象情報の取得及び庁内で情報共有 6. 安威川河川水位情報の確認 8. 河川管理者に助言の確認・ホットライン	
		223 判断・意思決定	1. 通常業務の調整、中止等の決定					2. 台風等初期開設避難場所の開設指令(方面隊)			3. 避難情報発令の検討・準備	4. 警戒レベル3高齢者等避難発令の判断 5. 安威川に関する避難場所の開設指令(方面隊)	6. 警戒レベル4避難指示の発令判断	7. 警戒レベル5緊急安全確保の発令判断
		224 避難情報の提供						1. 自主防災組織・地区コミュニティの連絡網にて避難情報の伝達 2. 防災行政無線等の各情報伝達手法にて伝達			3. 安威川に関する警戒レベル3高齢者等避難の発令 4. パトロール車にて避難情報の広報	6. 安威川に関する警戒レベル4避難指示の発令 4. パトロール車にて避難情報の広報	7. 安威川に関する警戒レベル5緊急安全確保の発令 4. パトロール車にて避難情報の広報	
		225 避難所の運営	1. 備蓄物資・資機材の点検					2. 台風等初期開設避難場所の開設				3. 安威川対象の避難所の開設		
		226 現場対応	1. 水防資機材の備蓄・点検			2. 気象・雨量水位情報収集 3. 工事現場への注意喚起 4. 所管施設の安全点検及び注意喚起	5. 土のうの配布 6. パトロール	5. 土のうの配布 6. パトロール	7. 浸水被害箇所の情報収集・応急対応 8. 通行止め措置(浸水区間) 9. 所管施設の被害状況の把握及び応急復旧	7. 浸水被害箇所の情報収集・応急対応 8. 通行止め措置(浸水区間) 9. 所管施設の被害状況の把握及び応急復旧	7. 浸水被害箇所の情報収集・応急対応 8. 通行止め措置(浸水区間) 9. 所管施設の被害状況の把握及び応急復旧	7. 浸水被害箇所の情報収集・応急対応 8. 通行止め措置(浸水区間) 9. 所管施設の被害状況の把握及び応急復旧	7. 浸水被害箇所の情報収集・応急対応 8. 通行止め措置(浸水区間) 9. 所管施設の被害状況の把握及び応急復旧	
		227 洪水対策施設操作												

ステージ(ST)			ST0 (平時)			ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)	
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~	
警戒レベル						警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当			警戒レベル4相当	警戒レベル5相当	
立ち上げ/移行トリガー						台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生	
安威川(千歳橋)水位								水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達	
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目											
200 流域市	230 茨木市	231 防災体制の構築				1. 事前配備担当課長会議の開催	2. 第1次風水害対策本部体制をとり、災害対策本部を設置							3. 災害対策本部会議を開催 4. 第2次風水害対策本部体制へ移行
		232 情報収集・共有	1. 台風情報等の収集	2. 台風情報等の共有 3. 避難場所の開設検討		4. 台風説明会の情報等の共有 5. 台風等の気象情報の収集 6. 関係機関及び団体との連絡・調整	5. 台風等の気象情報の収集 6. 関係機関及び団体との連絡・調整	5. 台風等の気象情報の収集 6. 関係機関及び団体との連絡・調整	5. 台風等の気象情報の収集 7. 河川水位の監視 8. 被害情報の収集・報告 9. 市民への気象情報等の提供及び注意喚起	5. 台風等の気象情報の収集 7. 河川水位の監視 8. 被害情報等の収集・報告	5. 台風等の気象情報の収集 7. 河川水位の監視 8. 被害情報等の収集・報告 10. ホットライン受信	5. 台風等の気象情報の収集 7. 河川水位の監視 8. 被害情報等の収集・報告 10. ホットライン受信	5. 台風等の気象情報の収集 6. 関係機関及び団体との連絡・調整 7. 河川水位の監視 8. 被害情報等の収集・報告	5. 台風等の気象情報の収集 6. 関係機関及び団体との連絡・調整 7. 河川水位の監視 8. 被害情報等の収集・報告 10. ホットライン受信
		233 判断・意思決定		1. 避難場所の検討		2. 台風説明会の情報を踏まえ、指定緊急避難場所(台風時避難場所及び洪水・土砂災害の避難場所)の開設を決定(最大52か所) 3. 非常配備体制、本部設置の時期を決定			4. 公共施設の閉館					5. 優先通常業務の選定及び業務継続計画(BCP)の発動決定
		234 避難情報の提供	1. ハザードマップ配布や出前講座等による啓発						2. 警戒レベル4 避難指示の発令準備	3. 洪水の避難情報の全対象地域に対して警戒レベル4 避難指示を発令				4. 破堤した河川の対象地域に対して警戒レベル5 緊急安全確保を発令 5. 警戒区域等の設定検討
		235 避難所の運営	1. ハザードマップ配布や出前講座等による啓発						2. 指定緊急避難場所52か所の開設準備	3. 指定緊急避難場所52か所の開設	4. 指定緊急避難場所52か所の運営			
		236 現場対応	1. 資機材の調達・備蓄確認 2. 懸念箇所の把握 3. 土のうステーションの数の確認、補充	4. 資機材(土のう等)、雨量水位観測システムの確認 5. 委託業者、緊急修繕業者との連絡体制の確認		6. 雨量水位情報の収集 7. 懸念箇所パトロール 8. 浸水防止のための緊急措置(土のう等)	9. 災担当課会議等情報の共有	10. 雨量水位観測システムで降雨・水位状況を確認						
		237 洪水対策施設操作	1. スクリーン及び堰の清掃 2. 樋門の動作確認 3. 各除塵機の点検及び清掃			4. スクリーンの点検・清掃								

ステージ(ST)			ST0 (平時)		ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)		
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~	
警戒レベル					警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当		警戒レベル4相当	警戒レベル5相当			
立ち上げ/移行トリガー					台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生		
安威川(千歳橋)水位							水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達		
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目											
200 流域市	240 摂津市	241 防災体制の構築	1.職員への参集基準の周知			2.台風接近に対する備えを各課に依頼	3.臨時部長会の開催	4.事前配備体制	5.警戒配備体制					
		242 情報収集・共有			1.台風経路の情報収集 雨・風	1.台風経路の情報収集 雨・風	1.台風経路の情報収集 雨・風 2.河川管理者へ水位見込みの助言を求める 3.市民への台風の接近の注意喚起	1.台風経路の情報収集 雨・風 2.河川管理者へ水位見込みの助言を求める 3.市民への台風の接近の注意喚起 4.河川の水位情報の確認	1.台風経路の情報収集 雨・風 2.河川管理者へ水位見込みの助言を求める 3.市民への台風の接近の注意喚起 4.河川の水位情報の確認	1.台風経路の情報収集 雨・風 4.河川水位情報の確認 5.ホットライン受信	4.河川水位情報の確認 5.ホットライン受信	4.ホットライン受信		
		243 判断・意思決定									1.避難情報発令の基準の確定 2.災害対策本部の設置 3.避難所職員の参集	4.避難勧告・避難指示の発令判断		
		244 避難情報の提供										1.防災行政無線、エリアメール等による避難準備・高齢者避難開始(水位)情報伝達 3.防災行政無線、エリアメール等による避難指示情報の伝達	2.防災行政無線、エリアメール等による避難準備(水位)情報伝達 3.防災行政無線、エリアメール等による避難指示情報の伝達	
		245 避難所の運営	1.周辺自治体、ライフライン企業等との調整				2.初期避難班・避難所班への周知	3.公共交通を使った広域避難行動開始 4.自主避難所の開設準備(暴風圏内)	5.徒歩での避難行動開始 6.自主避難所開設(暴風圏内)	7.避難所開設準備(水位)	8.避難所開設(水位)			
		246 現場対応	1.資機材の準備、補充			2.道路側溝、集水樹の清掃 3.発注工事の現場の安全確認・対応 4.初期防災班(現場班)の班員の体制確認	5.土のう要請時の配布 6.車両の燃料給油	5.土のう要請時の配布	7.水路・水位の監視、本部への報告 8.本部との番田水門の開閉状況の確認及び摂津ポンプ場、安威川左岸ポンプ場の稼働の確認 9.現場班の招集、出動、現場待機 10.住民への避難準備のスピーカー放送 11.現状確認(水位、水路の状況、スクリーンのし渣、側溝等の排水状況)	7.水路・水位の監視、本部への報告 8.本部との番田水門の開閉状況の確認及び摂津ポンプ場、安威川左岸ポンプ場の稼働の確認 9.現場班の招集、出動、現場待機 10.住民への避難準備のスピーカー放送 11.現状確認(水位、水路の状況、スクリーンのし渣、側溝等の排水状況)	7.水路・水位の監視、本部への報告 8.本部との番田水門の開閉状況の確認及び摂津ポンプ場、安威川左岸ポンプ場の稼働の確認 9.現場班の招集、出動、現場待機 10.住民への避難準備のスピーカー放送 11.現状確認(水位、水路の状況、スクリーンのし渣、側溝等の排水状況)	7.水路・水位の監視、本部への報告 8.本部との番田水門の開閉状況の確認及び摂津ポンプ場、安威川左岸ポンプ場の稼働の確認 9.現場班の招集、出動、現場待機 10.住民への避難準備のスピーカー放送 11.現状確認(水位、水路の状況、スクリーンのし渣、側溝等の排水状況)	12.浸水箇所、被害状況の確認 13.通行止め等の措置	
		247 洪水対策施設操作	1.各施設(スクリーン、ポンプ、ゲート)の現状・動作確認			2.委託業者による各施設確認	3.事前のゲート開門等操作	3.事前のゲート開門等操作	4.逆流防止ゲートの閉門・ポンプの稼働・強制排水及び除塵設備のし渣回収	4.逆流防止ゲートの閉門・ポンプの稼働・強制排水及び除塵設備のし渣回収	4.逆流防止ゲートの閉門・ポンプの稼働・強制排水及び除塵設備のし渣回収	4.逆流防止ゲートの閉門・ポンプの稼働・強制排水及び除塵設備のし渣回収		

ステージ(ST)			ST0 (平時)		ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)	
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~
警戒レベル					警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当			警戒レベル4相当	警戒レベル5相当	
立ち上げ/移行トリガー					台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生	
安威川(千歳橋)水位							水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達	
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目										
200 流域市	250 大阪市 (東淀川区含む) (東):東淀川区	【大阪市独自】 移行トリガー							【-4h】避難判断相当水位(3.5m)に到達見込み、かつ水位上昇見込み 【-3h】氾濫危険水位(4.25m)に到達見込み	避難判断相当水位(3.5m)に到達し、さらに上昇見込み		【-1h】危険水位(4.25m)に到達したとき 【-0.5h】氾濫相当水位(5.10m)に到達、堤防決壊の恐れ	
		251 防災体制の構築	1. 動員・組織体制の整備・周知・確認 2. 避難勧告等実施要領の整備・周知・確認			3. 各部署・区役所等対応確認 4. 体制検討・決定<(区)警戒体制検討会議>	5. 4号動員参集準備 6. 自主避難所開設予定連絡(区役所⇒予定職員、自主防災組織)	7. 災害時避難所開設予定連絡(関係区役所⇒3号動員職員)	8. 【警報発表】情報連絡体制:職員若干名(関係部局・区役所(東)) 【-4h:河川水位上昇で警戒レベル3(高齢者等避難)の見込み】 9. 災害対策警戒本部設置 10. 3号動員招集:職員初期活動要員(関係部局)、避難所開設のため:職員初期活動要員(区役所(東)) 【-3h:河川水位上昇で警戒レベル4(避難勧告)の見込み】 11. 災害対策本部設置準備 12. 2号動員招集:所属長・指定職員(関係部局・区役所(東))	【河川水位上昇で警戒レベル4(避難指示)の見込み】 11. 災害対策本部設置準備 12. 2号動員体制開始	12. 2号動員体制(継続) 13. ホットラインの受信(茨木土木から)	12. 2号動員体制(継続) 13. ホットラインの受信(茨木土木から)	13. ホットラインの受信(茨木土木から) 14. 1号動員招集・体制開始:全職員
		252 情報収集・共有		1. 気象(台風)情報確認	1. 気象(台風)情報確認	1. 気象(台風)情報確認 2. 台風説明会参加⇒庁内情報共有	1. 気象(台風)情報確認 3. 災害モード宣言発令に伴う庁内周知	1. 気象(台風)情報確認 4. 暴風圏域予測確認(自主避難受入れのため)	1. 気象(台風)情報確認 4. 暴風圏域予測確認 5. 防災情報システムによる緊急通知(危機管理室⇒区役所) 6. 河川水位・気象情報確認・共有(避難所開設、受入れのため)	1. 気象(台風)情報確認 4. 暴風圏域予測確認 5. 防災情報システムによる緊急通知(危機管理室⇒関係部局・区役所) 6. 河川水位・気象情報確認・共有	1. 気象(台風)情報確認 4. 暴風圏域予測確認 5. 防災情報システムによる緊急通知(危機管理室⇒関係部局・区役所) 6. 河川水位・気象情報確認・共有	1. 気象(台風)情報確認 5. 防災情報システムによる緊急通知(危機管理室⇒関係部局・区役所) 7. 堤防破堤情報伝達情報確認・共有	1. 気象(台風)情報確認 5. 防災情報システムによる緊急通知(危機管理室⇒関係部局・区役所) 7. 堤防破堤情報伝達情報確認・共有
		253 判断・意思決定					4. 【避難情報発令】 【警戒レベル3】避難準備・高齢者避難開始(判断条件:水位)	1. 警報発表に合わせて、動員体制(情報連絡体制)を通知(関係部局・区役所(東)) 2. 【-4h】河川水位上昇で警戒レベル3(高齢者等避難)の見込みに合わせて、動員体制(3号動員)を通知(関係部局・区役所(東)) 3. 【-3h】河川水位上昇で警戒レベル4(避難勧告)の見込みに合わせて、動員体制(2号動員)を通知(関係部局・区役所(東))	4. 【避難情報発令】 【警戒レベル3】避難準備・高齢者避難開始(判断条件:水位)	5. 【避難情報発令】 【警戒レベル4】避難勧告(判断条件:水位) 6. 【避難情報発令】 【警戒レベル4】避難指示(判断条件:水位)	7. 【避難情報発令】 【警戒レベル5】災害発生(破堤・越水)		

ステージ(ST)			ST0 (平時)			ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~
警戒レベル						警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当			警戒レベル4相当	警戒レベル5相当
立ち上げ/移行トリガー						台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生
安威川(千歳橋)水位								水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目										
200 流域市	250 大阪市 (東淀川区含む) (東):東淀川区	254 避難情報の提供	1.法改正等に伴う避難情報の提供 2.ハザードマップ・災害への備えの周知 3.災害時に見ていただくべきHP・SNS等の周知 4.職員のSNS等発信訓練(区役所(東)) 5.MCA無線機等を使用した自主防災組織との通信訓練			6.災害モード宣言発令に伴う市民周知 7.注意喚起庁内掲示(区役所(東)) 8.注意喚起(ツイッター) 9.防災情報メール登録施設向けメールの自動配信(危機管理室⇒要配慮者利用施設・地下施設) 10.自主避難所開設通知※	7.注意喚起庁内掲示(区役所(東)) 8.注意喚起(ツイッター) 9.防災情報メール登録施設向けメールの自動配信(危機管理室⇒要配慮者利用施設・地下施設) 10.自主避難所開設通知※	9.防災情報メール登録施設向けメールの自動配信(危機管理室⇒要配慮者利用施設・地下施設) 11.ODIS(おおさか防災ネット)への入力(危機管理室⇒大阪府) 12.【-3h】避難所開設準備依頼(危機管理室⇒区役所(東))	【避難情報】警戒レベル3高齢者等避難を発令 9.防災情報メール登録施設向けメールの配信(危機管理室⇒要配慮者利用施設・地下施設) 11.ODIS(おおさか防災ネット)への入力(危機管理室⇒大阪府) 13.同報系無線(防災スピーカー)放送(危機管理室⇒市民) 14.緊急速報メール等による緊急通知(危機管理室⇒市民) 15.防災情報FAX配信(危機管理室⇒報道機関・地下施設管理者) 16.自主防災組織への状況伝達(区役所(東)⇒市民) 17.避難所開設情報を市民周知(HP)(区役所(東)⇒市民)	9.防災情報メール登録施設向けメールの配信(危機管理室⇒要配慮者利用施設・地下施設) 11.ODIS(おおさか防災ネット)への入力(危機管理室⇒大阪府) 13.同報系無線(防災スピーカー)放送(危機管理室⇒市民) 14.緊急速報メール等による緊急通知(危機管理室⇒市民) 15.防災情報FAX配信(危機管理室⇒報道機関・地下施設管理者) 16.自主防災組織への状況伝達(区役所(東)⇒市民)	【避難情報】警戒レベル4避難勧告・避難指示(緊急)を発令 9.防災情報メール登録施設向けメールの配信(危機管理室⇒要配慮者利用施設・地下施設) 11.ODIS(おおさか防災ネット)への入力(危機管理室⇒大阪府) 13.同報系無線(防災スピーカー)放送(危機管理室⇒市民) 14.緊急速報メール等による緊急通知(危機管理室⇒市民) 15.防災情報FAX配信(危機管理室⇒報道機関・地下施設管理者) 16.自主防災組織への状況伝達(区役所(東)⇒市民)	【避難情報】警戒レベル5災害発生(破堤)を発令 9.防災情報メール登録施設向けメールの配信(危機管理室⇒要配慮者利用施設・地下施設) 11.ODIS(おおさか防災ネット)への入力(危機管理室⇒大阪府) 13.同報系無線(防災スピーカー)放送(危機管理室⇒市民) 14.緊急速報メール等による緊急通知(危機管理室⇒市民) 15.防災情報FAX配信(危機管理室⇒報道機関・地下施設管理者) 16.自主防災組織への状況伝達(区役所(東)⇒市民)	
		255 避難所の運営	1.自主防災組織への啓発・研修(区役所(東))			2.自主避難所開設準備・検討(区役所(東))	3.自主避難所開設(区役所) *検討の結果	4.【-3h】避難所開設準備(区役所(東))	5.避難所開設(区役所(東)・自主防災組織)	5.避難所開設(継続)(区役所(東)・自主防災組織)	5.避難所開設(継続)(区役所(東)・自主防災組織)	5.避難所開設(継続)(区役所(東)・自主防災組織)	
		256 現場対応	1.車両及び燃料の点検 2.資機材の準備・点検		3.下水、道路、河川の巡視点検	3.下水、道路、河川の巡視点検	3.下水、道路、河川の巡視点検	3.下水、道路、河川の巡視点検 4.必要に応じ道路交通規制を実施	3.下水、道路、河川の巡視点検 4.必要に応じ道路交通規制を実施	3.下水、道路、河川の巡視点検 4.必要に応じ道路交通規制を実施	3.下水、道路、河川の巡視点検 4.必要に応じ道路交通規制を実施	3.下水、道路、河川の巡視点検 4.必要に応じ道路交通規制を実施	5.被災箇所の確認 6.対応策検討 7.道路啓開実施
		257 洪水対策施設操作											

ステージ(ST)			ST0 (平時)		ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)		
リードタイム			日常	-72h~ -48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~		
警戒レベル					警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当		警戒レベル4相当	警戒レベル5相当			
立ち上げ/移行トリガー					台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表			破堤による氾濫発生			
安威川(千歳橋)水位							水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達		
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目											
300 河川管理者・ 道路管理者	310 茨木土木事務所	311 情報収集・共有	1. 防災啓発の実施 2. 災害対応の準備	3. 水防体制の検討・構築		4. 水防体制の確認 5. 公共交通機関の運行計画の確認		6. 水防体制の確立 7. 水位・雨量の監視 8. 水防警報の発表	7. 水位・雨量の監視 9. 体制の拡大 10. 通報・問い合わせ対応 11. HP等広報掲載の準備 12. 通行規制に伴う関係機関連絡	7. 水位・雨量の監視 8. 水防警報の発表 10. 通報・問い合わせ対応	7. 水位・雨量の監視 10. 通報・問い合わせ対応 13. ホットラインの実施(氾濫警戒情報を発表した時)	7. 水位・雨量の監視 10. 通報・問い合わせ対応 13. ホットラインの実施(氾濫危険情報を発表した時)	7. 水位・雨量の監視 10. 通報・問い合わせ対応 13. ホットラインの実施(氾濫発生情報の恐れがある時) 14. 氾濫発生情報の受信(水防管理者)、報告(水防本部)	
		311-2 情報収集・共有 [安威川ダム関係]	1. 防災啓発の実施 2. 災害対応の準備	3. 水位・雨量の監視 4. 水防体制の確立(事前放流体制) 5. ダム諸量の監視 6. ダム連絡の通知 7. 通報・問い合わせ対応	3. 水位・雨量の監視 5. ダム諸量の監視 6. ダム連絡の通知 7. 通報・問い合わせ対応	3. 水位・雨量の監視 5. ダム諸量の監視 6. ダム連絡の通知 7. 通報・問い合わせ対応	5. ダム諸量の監視 6. ダム連絡の通知 7. 通報・問い合わせ対応	8. 水防体制の変更(洪水警戒体制) 5. ダム諸量の監視 9. 貯水位と流入量に応じてダム連絡の通知 10. ホットラインの実施(非常用洪水吐越流3時間前)	5. ダム諸量の監視 9. 貯水位と流入量に応じてダム連絡の通知 11. ホットラインの実施(非常用洪水吐越流1時間前)	5. ダム諸量の監視 9. 貯水位と流入量に応じてダム連絡の通知 12. ホットラインの実施(非常用洪水吐越流1時間前)	5. ダム諸量の監視 9. 貯水位と流入量に応じてダム連絡の通知	5. ダム諸量の監視 9. 貯水位と流入量に応じてダム連絡の通知	5. ダム諸量の監視 9. 貯水位と流入量に応じてダム連絡の通知	
		312 現場対応	1. 日常点検	2. 資機材の点検・確認・調達 3. 事前の情報収集 4. 工事現場等の安全管理					5. バトロールの実施 6. 道路通行規制の準備 7. 緊急業者の手配 8. ガードマンの手配 9. 累積雨量等により道路通行規制の実施	5. バトロールの実施 7. 緊急業者の手配 10. 被災箇所の緊急措置 11. 応急対策の実施	5. バトロールの実施 7. 緊急業者の手配 10. 被災箇所の緊急措置 11. 応急対策の実施	5. バトロールの実施 7. 緊急業者の手配 10. 被災箇所の緊急措置 11. 応急対策の実施	5. バトロールの実施 7. 緊急業者の手配 10. 被災箇所の緊急措置 11. 応急対策の実施	5. バトロールの実施 7. 緊急業者の手配 11. 応急対策の実施 12. 破堤箇所の緊急措置
		312-2 現場対応 [安威川ダム関係]	1. 日常点検	2. 工事現場等の安全対策指示 3. 事前放流実施に応じてパトロールの実施 4. 事前放流実施に応じて放流警報の吹鳴	5. 事前の情報収集	5. 事前の情報収集	5. 事前の情報収集	3. 事前の情報収集	6. パトロールの実施 7. 貯水位と流入量に応じて放流警報の吹鳴	6. パトロールの実施 7. 貯水位と流入量に応じて放流警報の吹鳴	6. パトロールの実施 7. 貯水位と流入量に応じて放流警報の吹鳴	6. パトロールの実施 7. 貯水位と流入量に応じて放流警報の吹鳴	6. パトロールの実施 7. 貯水位と流入量に応じて放流警報の吹鳴	6. パトロールの実施

【様式11-9】
事前放流開始

【様式11-9】
事前放流連絡

【様式11-2】
急激な河川水位上昇

【様式11-3or10】
常用洪水吐越流開始

【様式11-1】
洪水警戒体制配備

【様式11-4】
非常用洪水吐越流3時間前

【様式11-5】
非常用洪水吐越流1時間前

【様式11-6】
非常用洪水吐越流開始

ステージ(ST)			ST0 (平時)		ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)	
リードタイム			日常	-72h~ -48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~	
警戒レベル					警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当		警戒レベル4相当	警戒レベル5相当		
立ち上げ/移行トリガー					台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生	
安威川(千歳橋)水位							水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達	
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目										
300 河川管理者・ 道路管理者	320 西大阪治水事務所	321 情報収集・共有			1. 水防体制の検討 2. 所内の情報共有	3. 水防体制の構築 4. 交通機関のチェック、当番の割り当て	5. 水防体制の確立(配備) 6. 潮位・水位・台風進路 7. 監視、観測 8. 水防警報の発表 9. 施設操作に係る関係機関との協議・調整(R2号鉄扉・水門)	10. 施設操作情報 11. 潮位・水位・進路 12. 洪水予測 7. 監視、観測 8. 水防警報の発表 9. 施設操作に係る関係機関との協議・調整(R2号鉄扉・水門)					10. 施設操作情報 11. 潮位・水位・進路 12. 洪水予測 7. 監視、観測 8. 水防警報の発表
		322 現場対応											
		323 洪水対策施設操作	1. 日常からの定期点検 2. 鉄扉操作者との訓練				3. 鉄扉操作責任者への事前連絡		4. 鉄扉(敷高低)閉鎖	5. 水門閉鎖、鉄扉(敷高低)閉鎖	5. 水門閉鎖、鉄扉(敷高低)閉鎖		
400 下水道・ 農林	410 北部流域下水道事務所	411 情報収集・共有	1. 防災啓発の実施	2. 情報収集・共有	2. 情報収集・共有 4. 水防体制の確認 5. 公共交通機関の運行計画の確認		2. 情報収集・共有 6. 水防体制の確立 7. 雨水ポンプの運転状況監視	2. 情報収集・共有 7. 雨水ポンプの運転状況監視 8. 体制の拡大	2. 情報収集・共有 7. 雨水ポンプの運転状況監視	2. 情報収集・共有 7. 雨水ポンプの運転状況監視	2. 情報収集・共有 7. 雨水ポンプの運転状況監視	2. 情報収集・共有 7. 雨水ポンプの運転状況監視	
		412 現場対応	1. 雨水ポンプ、自家発電機の日常点検	2. 工事現場等の安全管理	3. 雨水ポンプ、自家発電機の燃料追加調達の準備		4. 雨水ポンプの運転状況監視	4. 雨水ポンプの運転状況監視	4. 雨水ポンプの運転状況監視	4. 雨水ポンプの運転状況監視	4. 雨水ポンプの運転状況監視	4. 雨水ポンプの運転状況監視	
	420 北部農と緑の総合事務所	421 情報収集・共有	1. ため池水防訓練、ため池管理者研修会(所内、市町村、ため池管理者)	2. 工事現場等の安全管理	3. 公共交通機関の運行計画の確認 4. 水防体制の確認 5. 各市町へ警戒メール		6. 水防体制の確立 7. ため池水位・雨量観測	8. 水防体制の拡大 7. ため池水位・雨量観測					7. ため池水位・雨量観測 9. 各市町へ農林業被害の確認
		422 現場対応	1. 低水位管理指導		2. 各市町を通じてため池管理者へ低水位管理を周知(安全対策等)								3. 応急対策の実施 4. 各市町からの水防資材の借受け依頼 5. 貸出対応

ステージ(ST)			ST0 (平時)		ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)		
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~	
警戒レベル						警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当		警戒レベル4相当	警戒レベル5相当		
立ち上げ/移行トリガー						台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生	
安威川(千歳橋)水位							水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達		
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目											
500 保健所	510 吹田保健所	511 情報収集・共有	1. 防災対策マニュアルの周知(職員、関係機関) 2. 健康危機管理関係機関連絡会議等を通じて情報共有、及び関係機関との調整 3. 防災関係機関の緊急連絡先一覧の作成 4. 管内の浸水地域の確認			5. 気象情報の収集 6. 管内避難所情報確認	7. 管内危機管理体制の確認(災害時のEMIS入力等) 8. 所内の情報共有 9. 交通機関の計画運休の情報収集 10. 職員体制の確認	11. 府危機管理室(災对本部)情報の収集 12. 管内避難所・福祉避難所等の開設情報の確認 13. 交通機関の運行状況等の確認 14. 本部指令に基づいて、夜間の配備体制の確認	15. 夜間も含めた体制要員の確保 16. 必要に応じて保健所災害対策本部の立ち上げ 17. 交通機関の情報確認	18. 参集 19. 防災・危機管理指令部会議の情報収集		20. 管内医療機関の被災状況の確認とシステム入力 21. 難病患者等の安否確認 22. 関係機関の状況確認 23. 府対策本部への報告 24. 避難所・救護所状況、管内医療機関情報について吹田市、医師会等と情報共有		
		512 庁舎点検	1. 日常点検 2. 災害対策物品の準備				3. 災害対策物品の点検、避難 4. 停電時の準備(自家発電機等)						5. 被災状況の確認	
		513 現場対応	1. 患者自身の災害時の対応力向上に向けた支援 2. 関係機関との支援体制の整備			3. 患者自身の災害時の備えの確認	4. 必要に応じて事前入院の支援							5. 必要に応じて患者の対応(医療の調整等)
	520 茨木保健所	521 情報収集・共有	1. 防災対策マニュアルの周知(職員、関係機関) 2. 周辺自治体、医療機関との調整 3. 防災関係機関の緊急連絡先一覧の作成 4. 管内の浸水地域の確認			5. 気象情報の収集 6. 管内市町の避難所情報確認	7. 管内市町の危機管理体制の確認 8. 所内の情報共有 9. 交通機関の計画運休の情報収集 10. 職員体制の確認	11. 府危機管理室(災对本部)情報の収集 12. 管内避難所・福祉避難所等の開設情報の確認 13. 交通機関の運行状況等の確認 14. 本部指令に基づいて、夜間の配備体制の確認	15. 体制要員の確保(夜間も含めて) 16. 必要に応じて保健所災害対策本部の立ち上げ 17. 交通機関の情報確認(継続して)	18. 参集 19. 防災・危機管理指令部会議の情報収集			20. 管内医療機関の被災状況の確認 21. 難病患者等の安否状況などの確認 22. 府対策本部への報告 23. 関係機関の状況確認 24. 被災者状況について、管内市町及び管内3師会と情報共有 25. 毒劇物取扱業者の被災状況の確認	
		522 庁舎点検	1. 日常点検				2. 施設内の点検 3. 停電時の準備等(自家発電装置等)					4. 公用車、災害対策物品の避難	5. 被災状況の確認	
		523 現場対応	1. 患者自身の災害時の対応力向上に向けた支援 2. 関係機関との支援体制の整備 3. 安威川流域に毒劇物のタンク等保管場所があるのか確認をする。			4. 患者自身の災害時の備えの確認(人工呼吸器の稼働に必要な非常用充電設備等の確認)	5. 必要に応じて事前入院等の支援						6. 安否確認 7. 毒劇物取扱業者の状況確認、必要時対応の検討	
	530 高槻市保健所	531 情報収集・共有						1. 危機管理室(市災害対策本部)情報の収集	2. 職員の配備			3. 浸水想定区域内の要配慮者利用施設等に避難情報の連絡(避難準備・高齢者等避難開始)	4. 浸水想定区域内の要配慮者利用施設等に避難情報の連絡(避難指示(緊急))	5. 浸水想定区域内の被災状況の確認
		532 庁舎点検												

ステージ(ST)			ST0 (平時)			ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)	
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~	
警戒レベル						警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当			警戒レベル4相当	警戒レベル5相当	
立ち上げ/移行トリガー						台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生	
安威川(千歳橋)水位								水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達	
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目											
600 近畿地方整備局	601 自治体の支援 (大阪府)	1. TEC-FORCE隊員の教育、訓練			2. リエゾン派遣者の調整、準備(整備局内)				3. ホットライン(リエゾン派遣に関して調整)		4. リエゾン派遣 5. 自治体の状況把握と整備局本部への伝達(被害情報、避難情報、支援要請など) 6. 淀川水位情報提供	4. リエゾン派遣 5. 自治体の状況把握と整備局本部への伝達(被害情報、避難情報、支援要請など) 6. 淀川水位情報提供	4. リエゾン派遣 5. 自治体の状況把握と整備局本部への伝達(被害情報、避難情報、支援要請など) 6. 淀川水位情報提供	4. リエゾン派遣 5. 自治体の状況把握と整備局本部への伝達(被害情報、避難情報、支援要請など) 6. 淀川水位情報提供 7. TEC-FORCE派遣、調整
	602 自治体の支援 (市町村)	1. TEC-FORCE隊員の教育、訓練			2. リエゾン派遣者の調整、準備(整備局内)					3. 淀川水位情報提供	3. 淀川水位情報提供	3. 淀川水位情報提供	4. ホットライン(リエゾン派遣に関して調整) 5. リエゾン派遣 6. 自治体の状況把握と整備局本部への伝達(被害情報、避難情報、支援要請など) 3. 淀川水位情報提供 7. TEC-FORCE派遣、調整	
700 淀川右岸水防事務組合	701 情報収集・共有	1. 水防分団より危険個所の報告があれば、施設管理者へ報告。		2. 団本部用備品、無線機器等点検	3. 台風説明会の情報収集 4. 非常配備体制の確認			5. 職員参集、水防本部立上げ。	6. 水防団本部立上げ。 7. 水位・雨量等の情報収集。	8. 指揮所本部立上げ。 7. 水位・雨量等の情報収集。	7. 水位・雨量等の情報収集。 9. 水防団への情報提供。 10. 水防団活動状況の把握。	11. 水防工法実施を管理者、関係市町村長へ報告。 12. 相互応援体制の確認。	13. 管理者、関係市町村長への報告。 14. 情報収集継続。	
	702 現場対応	1. 通常巡視			2. 水防団幹部への情報提供				3. (出動準備)水防団員を待機。資器材点検。非常監視及び警戒。	4. (出動)水防団招集出動。非常監視及び警戒。水防活動。	5. 避難の準備。 6. 高齢者等避難開始を指示する。	7. 被災箇所の報告。 8. 水防工法の実施。	9. 水防本部へ状況報告。 10. 被害が拡大しないよう努める。	

ステージ(ST)			ST0 (平時)		ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)	
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~
警戒レベル					警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当			警戒レベル4相当	警戒レベル5相当	
立ち上げ/移行トリガー					台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生	
安威川(千歳橋)水位							水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達	
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目										
800 消防機関	810 吹田市消防本部	811 情報収集・共有				1.各種情報の収集・伝達	2.気象情報等の収集・共有 3.ライフライン、交通機関、道路情報の収集	4.危険箇所の状況把握・共有 5.事前災害広報 6.各河川情報の収集(氾濫)	4.危険箇所の状況把握・共有 5.事前災害広報 6.各河川情報の収集(氾濫)				4.危険箇所の状況把握・共有 5.事前災害広報 6.各河川情報の収集(氾濫)
		812 現場対応	1.日常点検 2.防災計画等の整備 3.関係機関との連絡体制の整備			4.招集・動員体制の検討、整備 5.必要資機材の準備(整備・調達)	6.活動資器材の点検・準備・調達 7.増員・増隊事前命令 8.事前水防対策	8.事前水防対策 9.警防本部の設置 10.参集状況の報告 11.危険箇所の監視・パトロール 12.活動体制の決定	9.警防本部の設置 10.参集状況の報告 11.危険箇所の監視・パトロール 13.出動準備 14.警戒区域の設定				15.活動対応
	820 高槻市消防本部	821 情報収集・共有	1.関係機関との連絡体制の整備			2.各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む) 3.浸水予想地域等危険箇所の把握、周知、共有	4.各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む)	4.各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む)	5.災対本部へのリエゾン派遣 4.各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む)				6.市の災害対策本部等と被害状況及び活動状況等の情報共有
		822 現場対応	1.日常点検 2.警防計画等の整備				3.管内巡回 4.資機材の整備・調達	3.管内巡回 5.資機材の点検	6.避難情報等広報 3.管内巡回 7.当務員警戒 8.警備本部設置 9.非常招集発令	6.避難情報等広報 3.管内巡回	6.避難情報等広報 3.管内巡回	6.避難情報等広報 3.管内巡回	10.事案対応
	830 茨木市消防本部	831 情報収集・共有	1.警防計画等の整備 2.関係機関との連絡体制の整備 3.HP等からの情報収集			4.本部内での会議	5.本部内での会議及び雨量等の監視	5.本部内での会議及び雨量等の監視	5.本部内での会議及び雨量等の監視 6.危険箇所等の状況把握 7.参集職員の把握				8.被災状況の把握
		832 現場対応	1.資機材の日常点検			2.資機材の再点検	3.巡回、広報	3.巡回、広報 4.山間部及び河川・水路等の巡回調査	4.山間部及び河川・水路等の巡回調査 5.非常警備本部設置 6.住民避難及び警報発令に伴う広報 7.非常招集(職員及び消防団)				8.災害発生箇所の確認・対策 9.人命救助活動
	840 摂津市消防本部	841 情報収集・共有	1.関係機関との連絡体制の整備			2.各種、各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む)	2.各種、各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む) 3.管内危険箇所の把握	2.各種、各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む) 4.警備本部の設置	2.各種、各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む) 5.巡回部隊からの情報収集	2.各種、各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む) 5.巡回部隊からの情報収集	2.各種、各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む) 5.巡回部隊からの情報収集	2.各種、各機関からの情報収集(報道、ホームページ等含む) 5.巡回部隊からの情報収集	5.巡回部隊からの情報収集 6.他市と情報共有
		842 現場対応	1.資機材の点検・整備			2.非番、週休者の把握 3.資機材等の準備、確認	3.資機材等の確保 4.各部隊の任務確認	5.非番員等の招集	6.参集人員の部隊振り分け 7.管内巡回	7.管内巡回	7.管内巡回	7.管内巡回	8.応急対策、人命救助

ステージ(ST)			ST0 (平時)			ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~
警戒レベル						警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当			警戒レベル4相当	警戒レベル5相当
立ち上げ/移行トリガー						台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生
安威川(千歳橋)水位								水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目										
900 警察機関	910 吹田警察署	911 情報収集・共有	1. 防災関係機関ホットラインの点検・整備 2. 管内実態把握 3. 署員教養			4. 各種情報収集 5. 署員への指示・説明 6. 他機関との情報共有 7. 警察本部との情報共有・対応協議	8. 最新情報収集	9. 最新情報の収集	10. 最新情報収集 11. 災害対策本部への職員派遣				12. 情報収集
		912 現場対応	1. 装備資器材点検・整備 2. 署員教養・訓練			3. 装備資器材の準備・再点検	4. 巡回パトロール開始	5. 巡回パトロール	6. 巡回パトロール 7. 事案対応				8. 事案対応
	920 高槻警察署	921 情報収集・共有	1. 防災関係機関ホットラインの点検・整備 2. 管内実態把握 3. 署員教養			4. 各種情報収集 5. 署員への指示・説明 6. 他機関との情報共有 7. 警察本部との情報共有・対応協議	8. 最新情報収集	9. 最新情報の収集	10. 最新情報収集 11. 災害対策本部への職員派遣				12. 情報収集
		922 現場対応	1. 装備資器材点検・整備 2. 署員教養・訓練			3. 装備資器材の準備・再点検	4. 巡回パトロール開始	5. 巡回パトロール	6. 巡回パトロール 7. 事案対応				8. 事案対応
	930 茨木警察署	931 情報収集・共有	1. 防災関係機関ホットラインの点検・整備 2. 管内実態把握 3. 署員教養			4. 各種情報収集 5. 署員への指示・説明 6. 他機関との情報共有 7. 警察本部との情報共有・対応協議	8. 最新情報収集	9. 最新情報の収集	10. 最新情報収集 11. 災害対策本部への職員派遣				12. 情報収集
		932 現場対応	1. 装備資器材点検・整備 2. 署員教養・訓練			3. 装備資器材の準備・再点検	4. 巡回パトロール開始	5. 巡回パトロール	6. 巡回パトロール 7. 事案対応				8. 事案対応
	940 摂津警察署	941 情報収集・共有	1. 防災関係機関ホットラインの点検・整備 2. 管内実態把握 3. 署員教養			4. 各種情報収集 5. 署員への指示・説明 6. 他機関との情報共有 7. 警察本部との情報共有・対応協議	8. 最新情報収集	9. 最新情報の収集	10. 最新情報収集 11. 災害対策本部への職員派遣				12. 情報収集
		942 現場対応	1. 装備資器材点検・整備 2. 署員教養・訓練			3. 装備資器材の準備・再点検	4. 巡回パトロール開始	5. 巡回パトロール	6. 巡回パトロール 7. 事案対応				8. 事案対応

ステージ(ST)			ST0 (平時)			ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)	
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~	
警戒レベル						警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当		警戒レベル4相当	警戒レベル5相当		
立ち上げ/移行トリガー						台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生	
安威川(千歳橋)水位								水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達	
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目											
1000 ライフライン	1010 関西電力送配電株式会社	1011 情報収集・共有				1. 行動予定把握 2. 災害対策本部設置	3. 台風情報の収集					4. 停電情報の把握と整理	5. 被害把握と復旧計画立案 6. 停電情報・復旧見込みの公開	
		1012 現場対応	1. 日常点検			2. 臨時点検	3. 工具・資機材の事前準備	4. 復旧体制の検討	5. 通常体制⇒復旧体制への移行				6. 被害状況調査 7. 現場復旧作業	
	1020 西日本電信電話株式会社	1021 情報収集・共有	1. 緊急時の連絡体制 2. 特設公衆電話の維持拡大 3. 災害用伝言ダイヤル「171」の利用 4. 設備のアラーム監視				5. 気象情報の収集 6. 情報連絡室の設置 7. リエゾンの派遣検討	8. 災害対策本部の設置	9. 交通機関、道路状況等のライフラインの情報収集	10. 停電情報の収集 11. 避難所開設情報の収集				12. 故障受付体制の強化
		1022 現場対応	1. 通信設備点検 2. 資機材の点検 3. 社内外、防災訓練の参加及び実施			4. パトロール班の検討 5. 設備復旧班の検討	6. 通信ビルの水防板設置		7. ポータブル衛星車の出動準備 8. 特設公衆Wi-Fiの設置検討				9. 避難状況の把握 10. 輻輳状況の把握 11. トラヒックコントロール 12. 応急復旧体制の確立及び出動	
	1030 大阪ガスネットワーク株式会社	1031 情報収集・共有	1. 資料準備 2. 社内共有 3. 設備点検 4. 資機材点検	4. 気象台情報の確認	4. 気象台情報の確認	5. 待機体制準備 6. 対策箇所の確認	7. 待機体制確立	7. 待機体制確立 8. 点検箇所の雨量確認	7. 待機体制確立 8. 点検箇所の雨量確認	7. 待機体制確立 8. 点検箇所の雨量確認	7. 待機体制確立 8. 点検箇所の雨量確認	7. 待機体制確立 8. 点検箇所の雨量確認	7. 待機体制確立 8. 点検箇所の雨量確認	7. 待機体制確立 8. 点検箇所の雨量確認
		1032 現場対応							1. 雨量に応じ、点検箇所の点検 ※ガス漏れ通報対応は通常通り	1. 雨量に応じ、点検箇所の点検 ※ガス漏れ通報対応は通常通り	1. 雨量に応じ、点検箇所の点検 ※ガス漏れ通報対応は通常通り	1. 雨量に応じ、点検箇所の点検 ※ガス漏れ通報対応は通常通り	1. 雨量に応じ、点検箇所の点検 ※ガス漏れ通報対応は通常通り	1. 雨量に応じ、点検箇所の点検 ※ガス漏れ通報対応は通常通り
	1040 大阪広域水道企業団	1041 情報収集・共有					1. 24hの情報収集メンバーの選定(12h交代)	2. 各事業所間の定時(3h, 6hおき等)の被害情報交換	3. インターネットで河川水位の確認 4. 気象情報を随時確認する					
		1042 現場対応												1. 破堤に伴う水管橋災害想定時 2. 水道停止作業部隊現地出動

ステージ(ST)			ST0 (平時)			ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)
リードタイム			日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~
警戒レベル						警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当			警戒レベル4相当	警戒レベル5相当
立ち上げ/移行トリガー						台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生
安威川(千歳橋)水位								水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目										
1100 運輸事業者	1110 西日本高速道路株式会社	1111 情報収集・共有	1. 備蓄品等の準備	2. 台風進路予報の確認	3. 台風進路の確認	3. 台風進路の確認					4. 一般道等状況収集		
		1112 現場対応	1. 日常点検の実施				2. 防災体制構築	3. 速度規制協議	4. 通行止め準備	5. 通行止め開始(降水状況による)			
	1120 西日本旅客鉄道株式会社	1121 情報収集・共有	1. 災害への対応を事前に計画 2. 災害用資機材の準備 3. 列車の出入庫、乗務員の手配を考えた運転の止め方の検討			4. 台風情報の収集 5. 運転計画見込みの検討	6. 駅間で止めないような運転手配計画	6. 駅間で止めないような運転手配計画	7. 想定される災害発生に対応した復旧準備 6. 駅間で止めないような運転手配計画				7. 想定される災害発生に対応した復旧準備
		1122 現場対応	1. 日頃から列車は台風で停止することを周知			2. 早期の列車利用もしくはとりやめを周知 3. 台風で列車を止める予定を駅やホームページで周知し始める。(日単位) 4. 列車利用(旅行)のとりやめをアナウンス	5. 保守関係社員の招集 6. 早期の列車利用もしくはとりやめを周知 7. 何日の何時から列車を減らし、何時から列車を止めるか周知 8. お客様の帰宅が困難にならない列車の止め方(時間)を設定 9. 列車利用(旅行)のとりやめをアナウンス	10. 保守関係社員による警備 11. 早期の列車利用もしくはとりやめを周知 12. 列車の間引き運転 13. 列車利用(旅行)のとりやめをアナウンス	14. 列車停止後安全な場所からの警備 15. 列車を止めていることを周知し、安全に避難してもらうことをアナウンス 16. 列車利用(旅行)のとりやめをアナウンス 17. 列車運転のとりやめ				
	1130 阪急電鉄株式会社	1131 情報収集・共有		1. 本社または運転指令による情報収集	2. 計画運休実施の可能性について周知		3. 計画運休を決定する日時の周知		4. 計画運休実施を発表 5. 列車の間引き運転 6. 運転最終時間の周知 7. 列車運転のとりやめ				
		1132 現場対応		1. 動員体制・要員の確保、資機材等の事前点検		2. 警戒監視の開始		3. 鉄道の徐行・運転停止 4. 警戒配置の開始	5. 安全対策措置の実施				
	1140 大阪モノレール株式会社	1141 情報収集・共有		1. 気象情報の収集	2. 計画運休の準備		3. 計画運休実施を発表 4. 防災体制の呼出要員を決定	5. 計画運休の最終列車時刻を発表	6. 計画運休実施				7. 運行再開時刻の検討
		1142 現場対応		1. 動員体制・要員の確保 2. 施設・資機材等の事前点検		3. 警戒監視の開始	4. 計画運休実施を広報	5. 防災体制要員の参集指示 6. 対策本部の設置 7. 運転規制の開始 8. 計画運休の最終列車時刻を広報	9. 安全対策措置の実施 10. 列車の間引き運転、運行停止	11. 全列車入庫完了	12. 浸水対策の実施 13. お客様避難誘導	14. 運行再開のための巡回・点検準備	

ステージ(ST)			ST0 (平時)		ST1 (準備)	ST2 (警戒)	ST3 (早期避難)	ST4 (避難)				ST5 (避難完了/ 災害発生)		
リードタイム			日常	-72h~ -48h~	-36h~	-24h~	-12h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	0h~		
警戒レベル					警戒レベル1		警戒レベル2	警戒レベル3相当		警戒レベル4相当	警戒レベル5相当			
立ち上げ/移行トリガー					台風説明会の開催	強風注意報の発表	大雨・洪水注意報のいずれかが発表	大雨・洪水・暴風警報のいずれかが発表				破堤による氾濫発生		
安威川(千歳橋)水位							水防団待機水位		氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	破堤水位到達		
区分	防災関係機関	防災行動	各ステージ(ST)における防災行動項目											
1100 運輸事業者	1150 京阪バス株式会社	1151 情報収集・共有				1.乗務員から運行状況および道路状況の情報収集 2.他社(交通機関)との情報共有(収集)	1.乗務員から運行状況および道路状況の情報収集 2.他社(交通機関)との情報共有(収集)	1.乗務員から運行状況および道路状況の情報収集 2.他社(交通機関)との情報共有(収集) 3.災害対策本部(本社)への報告						
		1152 現場対応						1.担当路線の巡視ならびにバス停(標柱)の点検 2.ホームページに運行状況の掲載			3.鉄道の運行状況を鑑みて運休の判断をする。 4.各駅バス停のバス乗り場に運休お知らせ文の掲出		5.被害発生箇所把握、対応	
	1160 阪急バス株式会社	1161 情報収集・共有				1.社内防災体制で備える	2.雨、風 注意報等で路線巡回する	3.運休を考える						
		1162 現場対応	1.注意報で人(要員)の手配 2.警報で人(要員)の確保					3.警報等で危険箇所等重点に巡回する			4.鉄道会社の運休状況をかながみて運休の判断をする。			
	1170 近鉄バス株式会社	1171 情報収集・共有						1.乗務員に運休計画を伝える						
		1172 現場対応						1.バス利用者への運休情報案内(乗務員車内案内)	2.車庫へ入庫するよう無線連絡 3.運行管理システムにて全車入庫完了の確認		4.鉄道会社の運休状況をかながみて運休の判断をする。		5.被害発生箇所把握、対応	
	1180 高槻市営バス	1181 情報収集・共有	1.報道等での情報収集 2.バス停施設物(標識柱、上屋、ベンチ等)の日常点検	1.報道等での情報収集 2.バス停施設物(標識柱、上屋、ベンチ等)の日常点検	1.報道等での情報収集 2.バス停施設物(標識柱、上屋、ベンチ等)の日常点検	3.路線巡視パトロール	3.路線巡視パトロール	3.路線巡視パトロール	3.路線巡視パトロール	3.路線巡視パトロール 4.運行中のバスからの被害状況の情報収集 5.停留所標識柱やベンチ等の転倒作業の実施(状況により) 6.運行規制、運行中止の検討	7.運行規制、運行休止の実施(柱本団地線:三島江南口バス停~柱本バス停~柱本団地バス停間)	8.災害時要援護者の輸送活動の実施(総務部危機管理室からの連絡により実施)	9.災害対策本部からの指示待ち	10.災害対策本部からの指示待ち
		1182 現場対応							1.路線巡視パトロール 2.運行中のバスからの被害状況の情報収集 3.停留所標識柱やベンチ等の転倒作業の実施(状況により)	4.運行規制、運行休止の実施(柱本団地線:三島江南口バス停~柱本バス停~柱本団地バス停間) 5.安全な場所への移動、待機	5.安全な場所への移動、待機	6.安全な場所での待機	6.安全な場所での待機	